

就職活動学生向け データベース活用ガイド

■はじめに

就職活動の専門的アドバイスは、大学の就職課などへ、第一に相談して下さい。このガイドでは、就職活動において、図書館資料をどのように活用できるかを説明します。

目次

1. 就職活動に役立つデータベース紹介
2. 活用法 ①
 - 就活準備に使う
3. 活用法 ②
 - 業界研究・企業研究に使う



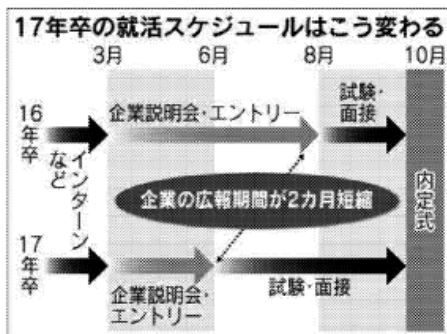
就職活動に役立つデータベース紹介

■1. データベースとは

資料探しに便利なツール。レポート・論文作成はもちろん、就活にも役立ちます。

■2. どんとときに使うの

たとえば就職活動の日程は、昔からずっと一緒ではありません。日本経団連が定める「採用選考に関する



上図（参考）2017年3月卒業学生の例

2016/3/1 日本経済新聞朝刊 地方経済面（長野）

「会社説明会きょう解禁、就活2カ月短く—短い広報期間、
Uターン就職に逆風。」より引用

る企業の倫理憲章」見直しにより、16年卒の学生と17年卒の学生とでは、それぞれ採用スケジュールが異なります。こうした事項は、新聞などで得られます。

また就職課より、就活生のマニュアル依存、業界研究不足などを耳にします。就活準備・研究にも、新聞や雑誌などが役立ち、これらを調べるためにデータベースがあります。

■3. データベース紹介 (図書館ホームページ > データベース集)

データベース	調べられるもの	本文
城西OPAC	城西の蔵書（各資料、雑誌特集記事）	なし
国会図書館サーチ	国会図書館蔵書、雑誌記事など	なし
日経テレコン	日経各紙の記事、企業情報、人事情報など	全部
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞などの記事、「知恵蔵」最新版など	全部
日経BP記事検索	「日経ビジネス」など、日経BP社の専門誌	全部
東洋経済DCL	週刊東洋経済、会社四季報、就職四季報など	全部
EDINET	上場、未上場企業の有価証券報告書	全部

青背景は無料（家からアクセス可）、緑は契約データベース（学内アクセス）。

活用法① (就活準備に使う)

■ 1. 準備のまえに

就活の話題の前にひとつ。レポートや論文を作成する場合、大事なことがあります。「自分がいまどの(作成)ステップにいるのか」、「次にどのステップに進めばよいのか」を把握・判断できる視点を持つことです。そうして、このような視点は、就活においても言えることかと思えます。

■ 2. 就職活動状況を把握する

就活準備のひとつとして、就職に関する社会情勢など把握しておきましょう。2頁例のように、新聞記事も有用です。就職ガイダンスなどで既に把握していても、再確認しておくといいでしょう。

なお、誰もがすぐに得られるウェブ(就活サイト、企業ホームページなどの)情報は、他学生との差が付きにくい情報です。どのような場面においても、より客観的で、積極的にさがして得られる(新聞・雑誌記事などの)情報を活用しましょう。

■ 3. 新聞記事を調べる

データベース「日経テレコン」を使う

「日経テレコン」は日本経済(朝/夕)・日経産業・日経MJ(日経流通)・日経金融(現在休刊)新聞、プレスリリース(報道機関向け発表資料)、日経統計データ、企業・人事情報などを検索・閲覧できるものです。

就活に関する社会情勢を確認する場合、例えば「就職・就活・新卒・採用…」などのキーワードで検索すると良いでしょう。一度検索すると、関連語もピックアップされます。なお記事は、古い情報でないか、発行日付も確認して下さい。

データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」を使う

「聞蔵Ⅱ」も新聞記事データベースで、朝日新聞の検索・閲覧ができます。新聞によって、同じ話題についても視点・意見が変わります。多くの記事を集める意味でも、両方の新聞記事データベースを使ってみましょう。

活用法②（業界研究・企業研究に使う）

■ 1. 業界研究・企業研究

業界研究では、業界についての理解を深め、自分が働ける／働きたい業界をさがします。

また業界が同じでも、企業が変われば仕事環境は変わります。志望企業は、無論、望むだけでは入社できません。そのための企業研究が必要になります。

■ 2. 何を調べるか

	調べる項目	目的
業界研究	その業界がどんな事業を行っているのか。 業界の現状、課題の把握。 業界内に、どんな企業があるのか。	就活の幅を広げる。 業界の知識を深める
企業研究	（志望企業がA社の場合） なぜ同業他社ではなく、A社か。 他社と比べての、A社の違い。 A社で自分が何をしたい／できるか。 ↑志望動機として訊かれる可能性大	志望企業が自分に合っているかの確認 志望動機作成のための調査

■ 3. 新聞記事・雑誌記事を調べる

業界研究 「日経テレコン」(3、4 頁参照) では、当日記事ならば面ごとに表示できます。1 / 経済 / 企業 / 消費 / 投資・財務面などを確認してみましょう。主要企業(00大手5社…など) 動向の記事があり、日々確認すると、業界の置かれている状況がつかめてきます。過去記事はキーワードなどで検索できます。

また「日経BP 記事検索」(3 頁参照) には、「就活情報を収集する > 業界研究」というメニューがあります。

企業研究 上記の日経紙面(「日経テレコン」)、「日経BP 記事検索」の「就活情報を収集する > 企業研究 / 地域経済」メニュー。企業の特徴、業績など掲載した『会社四季報』および、採用実績などの就職情報に特化した『就職四季報』。

企業の財務内容を知るのに役立つ『有価証券報告書』を見られる「EDINET」(いずれも3 頁参照) などが参考になります。

■参考文献

日経HR

「就職活動ナビゲーション、2012年度版」
2010年9月

日本シナプス

「就職の赤本、2012年度版」 2010年8月

日本経済新聞朝刊

「学業専念 就活短く」
2013年4月16日付 3頁

紀伊國屋書店

「情報の達人 第1巻、図書館へ行こう！
インターネット時代の情報活用入門」
「情報の達人 第2巻、ゼミ発表をしよう！
テーマ選びからプレゼンテーションまで」
「情報の達人 第3巻、レポート・論文を書こう！
誰にでも書ける10のステップ」 2007年

※「情報の達人」は全3巻のDVDで、レポート・論文執筆に役立つ情報を分かりやすく解説しています。図書館で所蔵しています。時間のある際にぜひご覧下

さい。

■その他紹介

日本経済新聞出版社

「就職活動のすべて」 2007年

※上記は全160分のDVDで、働くこと・プレゼン・グループディスカッション・面接などについてポイントをまとめています。

就職活動学生向けデータベース活用ガイド

発行日 2016年6月 第9版

編著者 城西大学水田記念図書館